

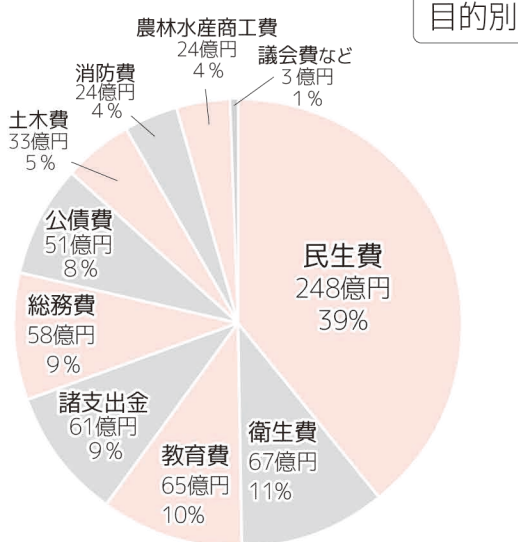
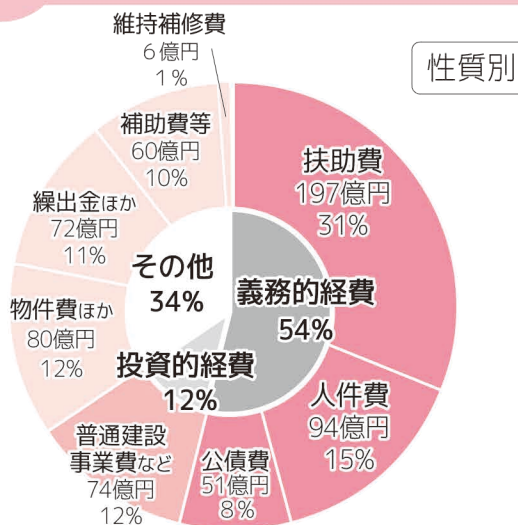
「未来に向けたまちの魅力向上」予算

■問合せ 財政課 ☎41-2507 FAX41-2552

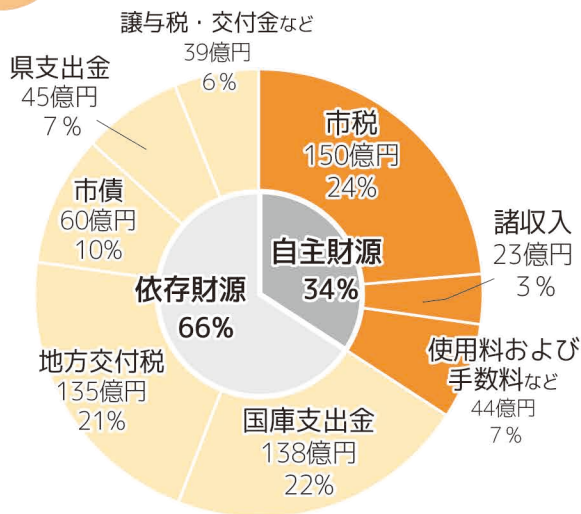
令和7年度は、以下の3点を重点的に取り組みます。

- ①まちなかの再生・活性化を進めていきます。
- ②IT企業の誘致など若者が夢をもって働く環境づくりをさらに進めていきます。
- ③新たな学童保育所を整備し、待機児童ゼロを目指すとともに、子ども医療費の支援、給食費の負担軽減などを実施し、安心して子育てできる環境整備にさらに力を入れるとともに、不登校児童・生徒の減少を図り、誰一人取り残されない学びの保障に取り組んでいきます。

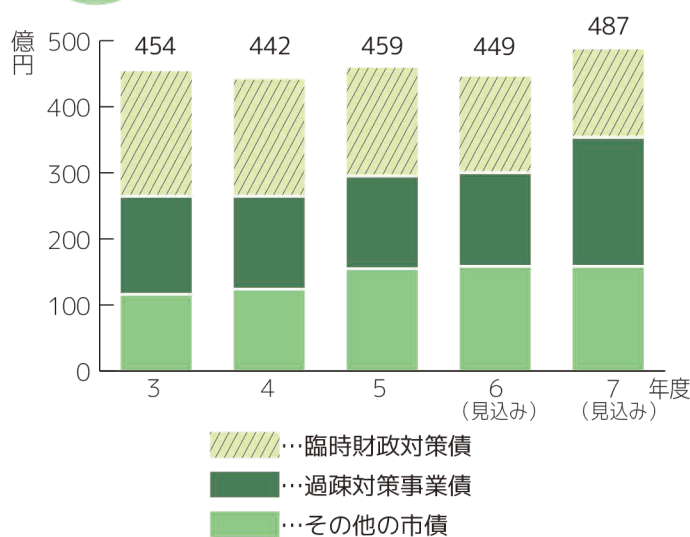
歳出 633億6,000万円



歳入 633億6,000万円



市債 市の借金残高見込み



※本グラフの数値は、単位を億円としているため、合計額とは必ずしも一致しません。

令和7年度一般会計予算の概要

※義務的経費…支出が義務付けられている経費（人件費、扶助費、公債費の合計）

令和7年度予算は、当初予算過去最大の規模となっています（前年比：27億6千万円 4.6%増）。

歳入においては、主に市税や地方交付税の増加を見込み、歳出においては、学校再編に伴う施設等の整備事業や児童手当の拡充などによる増加を見込んでいます。

大牟田市の歳出予算は義務的経費の割合が約54%であり、類似団体より高い状況となっているため、歳出構造の改革のための取り組みを行いながら、まちの魅力を向上させ、次の世代に選ばれる大牟田市を目指します。

令和7年度の主な事業を紹介します

■問合せ 総合政策課 ☎41-2501 FAX41-2552

若者が夢を持って働くまちづくり

● 企業誘致の推進

新大牟田駅産業団地や民間所有の工場適地などへの企業の誘致を進めるとともに、民間のノウハウを活用したIT関連企業の誘致に取り組むことで、新たな雇用の創出や税収の確保、市内企業との取引拡大など地域経済の活性化を図ります。（企業誘致推進事業 5,298万円）

● 地域企業への就業促進

関係団体や市内高校等と連携し、企業合同面談会や合同会社説明会、学校向けの企業見学会、産業フェスタ等を実施します。あわせて、市内の中小企業等に就職した若者に対して奨学金の返還支援や賃貸住宅の家賃の一部支援などを行い、地域企業への就業促進を図ります。

（おおむた100若者未来応援事業 1,897万円

地元就職者奨励事業 782万円、地域企業就業促進事業 874万円）

● 新規就農者育成

新規就農を促進するため、空きハウスや農地の確保に向けた支援制度を創設するとともに、認定新規就農アドバイザーによる安定的な営農に向けた支援を行います。

あわせて、農業用施設の整備や農業用機械の導入等への支援を行います。

（新規就農支援事業 1,925万円、担い手育成事業 1,330万円

スマート農業機械等導入支援事業 500万円）



子育て世代に魅力的なまちづくり

● 学童保育所・学童クラブの待機児童解消に向けて

学童保育所・学童クラブの待機児童ゼロを目指し、学童保育所の整備を行うとともに、定員を超えて受入れを行う施設への運営費の上乗せ補助を行います。また、認定こども園等での夏休みの児童預かり事業等を実施し、保護者の皆さんが安心して子どもを預けられる環境づくりを目指します。

（学童保育所等待機児童対策事業 2億5,439万円）



● 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

妊娠期から子育て期にわたり各種相談に応じ、必要な情報提供や助言、保健指導など、保健や医療、福祉等の連携による切れ目ない支援を継続します。特に、妊娠期から出産、子育てまで、身近な伴走型の相談支援と経済的な支援を一体的に行います。

（母子保健相談支援事業 1,503万円、

妊婦のための支援給付事業
6,554万円ほか）



● 子どもたちが将来を考える機会の提供

中学生が将来を考え始める時期に、地元企業での職業体験等を行うことにより、将来の進路や職業選択について考える機会を提供します。

また、地元企業の魅力を知ること、地域社会の一員としての意識を高めるとともに、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意欲などを養います。

（キャリア教育支援事業 80万円）



● 給食費の保護者負担の軽減

小・中・特別支援学校において、物価高騰による保護者負担を軽減するため、学校給食費の支援を行います。

（学校給食費負担軽減事業 1億7,349万円）

● 子ども医療の支援

0歳から中学3年生までの子どもを対象に、通院や入院にかかる医療費の自己負担分を一部助成します。就学前の子どもを無償とし、小中学生の通院にかかる自己負担額をワンコイン（500円）とする支援を行います。

（子ども医療費助成事業 3億9,485万円）

● 子育て世帯の住宅改修への支援

子育て世帯の住宅改修に係る経済的な負担軽減を図るため、工事費用の一部について支援を行います。

（子育て世帯住宅改修支援事業 100万円）

誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり

● 健康づくり・フレイル予防の推進

ウォーキング等の運動の促進や健康に関する測定・相談などを行い、健康づくり活動に継続的に取り組む市民の増加を目指します。また、さまざまなフレイル（虚弱）予防の活動を推進し、誰もが生涯にわたって元気に暮らすための健康づくりを促進します。

（健康づくり推進事業 100万円、
フレイル予防事業 492万円）



● 空き家の利活用・流通促進

空き家の利活用・流通を促進するため、空き家の所有者もしくは購入予定者に対し、家財処分等にかかる経費の一部を支援します。

（空家等対策推進事業 359万円、
空き家家財道具処分等支援事業
100万円）



空き店舗活用セミナー・見学会

まちなか再生による活性化

● 官民連携によるまちなかの再生・活性化

公民学の連携組織UDC（アーバンデザインセンター）おおむたと連携し、ハード・ソフトの両面から「まちなか再生未来ビジョン」の実現を進めます。あわせて、若者主体のまちづくり活動を支援するとともに、ストックの活用・流通の促進を図るなど、まちなかの再生・活性化に取り組めます。

（官民連携まちなか再生推進事業
3,730万円、若者発！つながる
まちなかづくり事業 245万円）

大牟田駅西口でのイベント



● 延命公園エリアの魅力創出

延命公園エリアにおいて、令和6年4月に総合体育館「おおむたアリーナ」がオープンしました。今後、市民体育館跡地に新たな駐車場や芝生広場、インクルーシブ遊具を整備することにより、総合体育館や動物園などの延命公園周辺の各施設が一体となって、誰もが利用しやすい魅力的な環境づくりを進めます。

（総合体育館等整備事業（Ⅱ期）
1億9,708万円、動物園整備
事業 2億1,000万円）



おおむたアリーナ周辺の整備イメージ

災害につよいまちづくり

● 排水対策基本計画に基づく浸水対策の強化

排水対策基本計画に基づき、ハード・ソフトの両面から効果的・効率的な浸水対策を実施し、浸水被害の軽減に取り組めます。引き続き、三川新ポンプ場の建設や白川ポンプ場のポンプ増設、船津新川の堤防高上げ工事、手鎌野間川の河川改良等を実施します。

（道路新設改良事業のうち 2億1,000万円、公園貯留施設整備事業 5,000万円

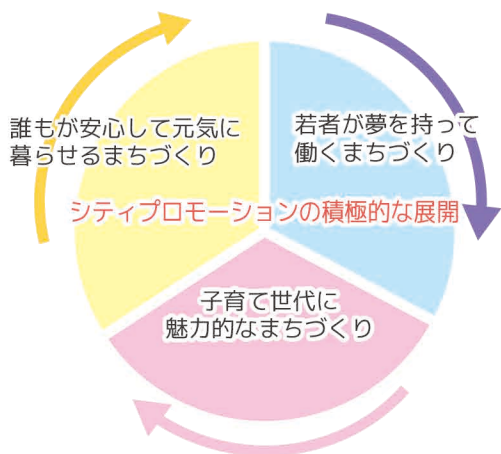
排水施設機能確保対策事業 6,300万円、都市下水路改良事業 1億3,000万円

河川改良事業 1億3,000万円 他）



整備が進む三川新ポンプ場

3つのまちづくりで生み出す好循環



今年度も3つのまちづくりを進めることで好循環を生み出し、将来を担う子どもたちが大牟田で安心して仕事をしながら生活できるまちを目指します。

加えて、「まちなか再生による活性化」や「災害につよいまちづくり」により、安全・安心で魅力的なまちの実現に向けて取り組むことで、本市が目指す都市像「元気あふれる 安心快適な未来価値創造都市～有明海沿岸地域のリーディングシティ～」を実現していきます。

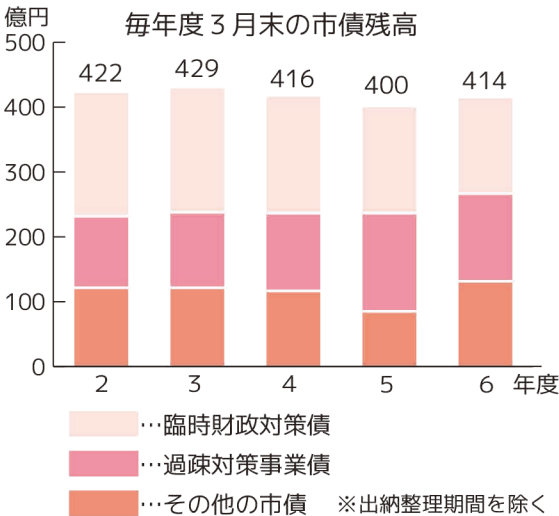
市の方針はこちら→



令和7年3月末現在の予算の執行状況、財産、市債および一時借入金残高を公表します。
※6年度の収入済額および支出済額は5月までの出納整理期間を経て確定するため、今回の数値は、決算額とは異なります。確定した決算の内容は12月号の『広報おおむた』で公表する予定です。

●令和6年度予算の執行状況（会計別）

会 計 名		予算現在額	令和6年4月から令和7年3月まで		うち令和6年10月から令和7年3月まで	
			収入済額	支出済額	収入済額	支出済額
一 般 会 計		663億4,191万円	83.7% 555億6,040万円	79.1% 524億6,298万円	42.3% 280億4,911万円	42.0% 278億7,873万円
	うち市税	144億7,937万円	99.2% 143億6,691万円	—	42.6% 61億6,237万円	—
特 別 会 計	国民健康保険	151億1,566万円	88.1% 133億 986万円	83.0% 125億4,650万円	49.5% 74億8,099万円	49.0% 74億 750万円
	介護保険	134億7,960万円	84.4% 113億7,797万円	90.3% 121億7,010万円	41.3% 55億7,001万円	50.0% 67億3,818万円
	後期高齢者医療	23億8,590万円	92.6% 22億1,006万円	94.1% 22億4,484万円	63.9% 15億2,504万円	68.2% 16億2,726万円
	病院事業債管理	4億3,945万円	90.7% 3億9,875万円	99.4% 4億3,665万円	21.1% 9,294万円	29.8% 1億3,084万円



市債残高	414億 325万円 (令和7年3月末現在)	一時借入金残高	0円 (令和7年3月末現在)
------	---------------------------	---------	-------------------

市民一人当たり (令和6年4月から令和7年3月)	市民一人当たり (令和6年10月から令和7年3月)
使った費用 …505,623円	使った費用 …268,687円
負担した市税…138,464円	負担した市税… 59,391円
市債残高 …399,033円	市債残高 …399,033円

6年度の市債残高は、総合体育館建設事業等の大型建設事業の新規借入により5年度より若干増加しています。

●市有財産の状況

(令和7年3月末現在 m²は平方メートル、m³は立方メートル)

土地	3,796,422.20m ²	職員退職手当積立基金	4億 342万円	動物園ゆめ基金	3,794万円
建物	482,485.76m ²	国民健康保険高額療養資金貸付基金	200万円	青少年健全育成基金	574万円
立木	3,395.30m ³	わくわくシティ基金	8,475万円	九州新幹線漏水対策施設維持管理基金	12億1,105万円
地上権及び地役権	7,966.81m ²	減債基金	4億4,475万円	財政調整基金	26億7,718万円
著作権	3件	福祉振興基金	2億5,071万円	安心安全まちづくり基金	825万円
商標権	1件	人生トライアスロン金メダル基金	466万円	市立学校施設整備基金	2,688万円
有価証券	1,000万円	庁舎等建設積立基金	28億9,986万円	おおむた100若者未来応援基金	7,362万円
出資財産	13万円	ふるさと・水と土保全基金	1,147万円	森林環境譲与税基金	1,631万円
出資金及び出捐金	25億7,885万円	介護給付費準備基金	16億7,107万円	消防応援基金	7,424万円
土地開発基金	2億1,482万円	近代化遺産保存活用基金	3,617万円	ふるさと応援基金	4億2,378万円
廃棄物の埋立地取得及び処理工場建設積立基金	10億 105万円	まちづくり基金	5,580万円		